

2017年4月6日

**「全日本選抜柔道体重別選手権大会」で近藤選手と新井選手が優勝！
舟久保選手、稲森選手が準優勝！
～近藤選手、新井選手が世界柔道選手権大会日本代表に決定！～**

4月1日（土）～2日（日）に福岡国際センターで開催された「全日本選抜柔道体重別選手権大会」に当社女子柔道部（監督：柳澤 久）から10名の選手が出場し、近藤亜美選手（48kg級）と新井千鶴選手（70kg級）が優勝、舟久保遥香選手（57kg級）、稲森奈見選手（78kg超級）が準優勝しました。また、大会終了後の全日本柔道連盟・強化委員会にて世界柔道選手権大会＜8月28日（月）～9月3日（日）／ハンガリー・ブダペスト＞の代表選考が行われ、全9名の日本代表中6名を発表、近藤選手、新井選手が日本代表に選出されました。

【大会結果詳細】

近藤亜美選手（48kg級） 優勝 <世界柔道選手権 日本代表（3大会連続3回目）>

1回戦は横四方固で一本勝し、準決勝は払腰で優勢勝。決勝では渡名喜風南選手（帝京大学）との対戦で、ゴールデンスコア（延長戦）の末、大外刈で一本勝を収め、3回目の優勝を果たしました。

新井千鶴選手（70kg級） 優勝 <世界柔道選手権 日本代表（2大会連続2回目）>

1回戦は内股で技ありを奪い優勢勝、準決勝はゴールデンスコアで指導を奪い優勢勝。決勝では、新添左季選手（山梨学院大学）を相手に、残り時間5秒のところまで横四方固に入り一本勝。本大会初優勝を飾りました。

舟久保遥香選手（57kg級） 準優勝

本大会は初出場でしたが、1回戦をゴールデンスコアの末、小内刈で一本勝。準決勝は第1シードの芳田司選手（コマツ）にゴールデンスコアで指導を奪い優勢勝。決勝では宇高菜絵選手（コマツ）に善戦しましたが、大外刈で一本を奪われ、準優勝となりました。

稲森奈見選手（78kg超級） 準優勝

1回戦は足車で技ありを奪い、その後、相手が掛けた内股を返し一本勝、準決勝は背負投で技ありを奪い優勢勝。決勝では素根輝選手（南筑高校）との対戦で、指導2を先行し優勢に試合を進めるも、ゴールデンスコアに入り体落で技ありを奪われ優勢負。準優勝となりました。

<1回戦敗退>

前田千島選手（52kg級）、玉置桃選手（57kg級）、鍋倉那美選手（63kg級）、
柿澤史歩選手（70kg級）、吉村静織選手（78kg級）、高山莉加選手（78kg級）

以上



優勝した新井千鶴選手



決勝：抑え込む新井千鶴選手



優勝した近藤亜美選手



決勝：大外刈で一本勝する近藤亜美選手

写真：アフロスポーツ